

事例 **3**
住民向けの防災研修を発展させ、市町村内の横の連携を強化しながら、多様な視点での防災対策を広める！
茨城県

取組概要

- 外郭団体が主催していた住民向けの女性視点の研修をもとに、ダイバーシティ推進センターと防災・危機管理課が共催で研修を実施し、市町村職員も対象に追加

取組のきっかけ 『研修で、市町村職員の多様な視点への理解を広げたい！』

以前から男女共同参画の視点からの防災研修会は実施されていたが、一般県民を対象として外郭団体が主催していたため、市町村職員が業務として参加することは難しかった……

↓

組織改編により、知事部局にダイバーシティ推進センターが設置されたため、市町村の担当課長宛に県から直接通知を発出できるように。

↓

ダイバーシティ推進センターと防災・危機管理課が共催で研修を実施し、女性をはじめ多様な視点を踏まえた防災対策について説明。

↓

研修を通じて、より多くの方が多様な視点を理解して防災対策に取り組めることを目指そう！

茨城県
女性活躍・県民協働課
ダイバーシティ推進センター「ぼらりす」

電話: 029-233-3982
<https://www.diversity-ibaraki.jp>

ダイバーシティ
推進センターHP➡

事例3 「住民向けの防災研修を発展させ、市町村内の横の連携を強化しながら、多様な視点での防災対策を広める！」 茨城県

【取組概要】

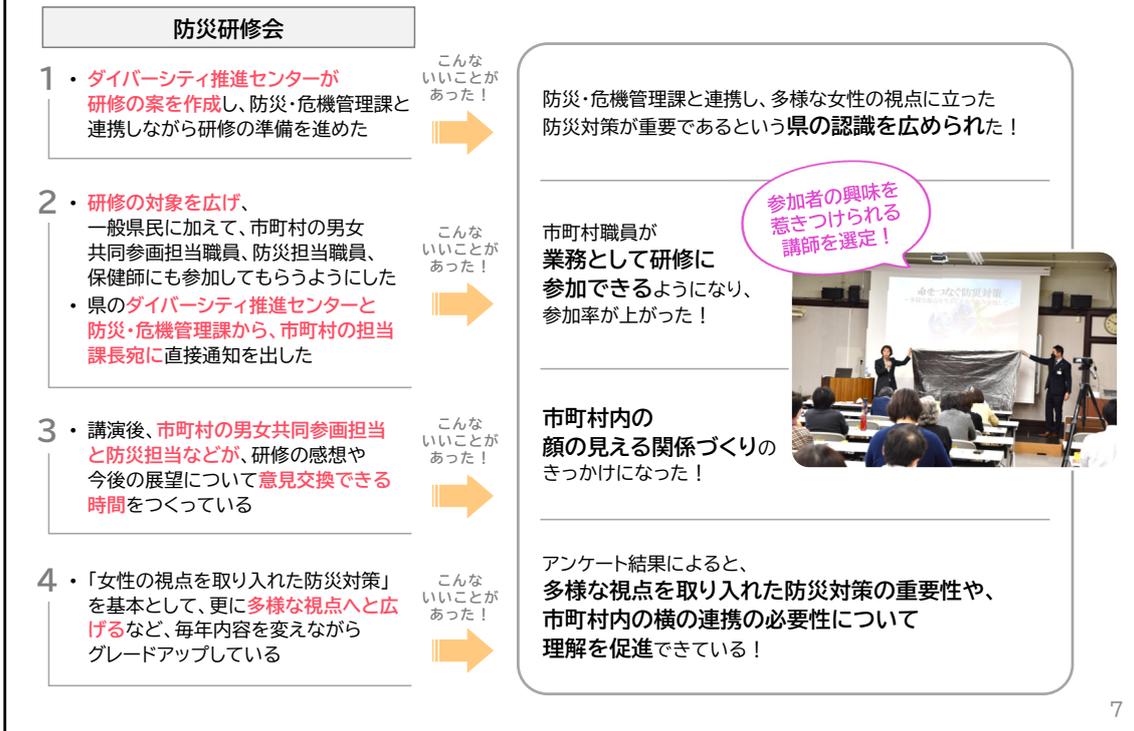
- 外郭団体が主催していた住民向けの女性視点の研修をもとに、ダイバーシティ推進センター(※)と防災・危機管理課が共催で研修を実施し、市町村職員も対象に追加しました。

【取組のきっかけ】

- 茨城県では、平成27年頃から男女共同参画の視点からの防災研修会は実施されていましたが、一般県民を対象として、外郭団体である茨城県女性プラザ(旧婦人教育会館。現在はダイバーシティ推進センターに統合)が主催していたため、外郭団体からの通知では市町村職員が業務として参加することは難しいのが現状でした。しかし、個人的に参加した市町村職員からは、アンケートを通して、職員にも聞かせた方がよいのではないかという意見が出されていました。
- そのような中、令和2年度に組織改編により、知事部局に「茨城県女性プラザ」と「男女共同参画支援室」の機能を統合した、ダイバーシティ推進センターが設置されたため、市町村課長宛に県から直接通知を発出し、市町村職員が業務の一環として研修に参加できる仕組みが整いました。
- 同じ知事部局になったことをきっかけに、ダイバーシティ推進センターと防災・危機管理課が共催で、女性の視点から多様な視点までを含めた防災研修を開催することにしました。
- 研修を通じて、市町村職員を含め、より多くの方が多様な視点を理解して防災対策に取り組めることを目指しています。

※「ダイバーシティ推進センター」は、男女共同参画社会の実現や女性活躍の推進を図るため、既存の「茨城県女性プラザ」と「男女共同参画支援室」の機能を統合してつくられた「男女共同参画センター」の後継です。性別にとらわれず、誰もが個性と能力を発揮し、あらゆる分野で活躍できる人材の育成を推進するため、令和2年11月より男女共同参画センターの名称を変更しました。(<https://www.diversity-ibaraki.jp/summary.html>)

1 既存の住民向け研修をグレードアップし、市町村職員も参加できる環境に！



7

①既存の住民向け研修をグレードアップし、市町村職員も参加できる環境に！

<防災研修会>

- ダイバーシティ推進センターが研修の案を作成し、防災・危機管理課と連携しながら研修の準備を進めました。防災・危機管理課としても、多様な視点に立った防災対策が重要と考えているため、専門的に担当している担当課が主催し、広く市町村職員などに受講してもらうことで、県の認識を広める良い機会になりました。
- ダイバーシティ推進センターと防災・危機管理課で共催することを機に研修の対象を広げ、一般県民に加えて、市町村の男女共同参画担当職員、防災担当職員、保健師にも参加してもらうようにしました。研修への出席依頼については、県のダイバーシティ推進センターと防災・危機管理課から、市町村の担当課長宛に直接通知を出しています。これにより、市町村職員が業務として研修に参加できるようになり、研修の参加率が上がりました。また、よりよい研修にするために、参加者の興味を惹きつける伝え方ができる講師を選定しています。

～講師の選定で参考にしていること～

- ・ 著名な方であること
- ・ 過去に開催した研修講師の蓄積データや職員の経験を踏まえること
- ・ 他県の講師の選定状況を参考にすること

- 研修の最後に20分程度、同じ市町村の男女共同参画担当職員と防災担当職員などが、研修の感想や今後の展望について意見交換できる時間をつくっていることで、市町村内の横の関係づくりができるようになりました。
- 講演内容は「女性の視点を取り入れた防災対策」を基本としていましたが、多様な視点へ捉え方を広げるなど、毎年内容を変えながらグレードアップしています。研修後に行ったアンケートの結果からは、多様な視点を取り入れた防災対策についての理解を促進できたことや、市町村内の横の連携の必要性について認識していただけたのが分かりました。

～これまでの研修テーマ～

- ・ 女性の参画と多様性に配慮した防災・減災 ～持続可能な地域づくりのために～
- ・ 命をつなぐ防災対策 ～多様な視点を生かした取組を通して～